

平成27年度第2回学校関係者評価委員会報告

1 日 時 平成28年2月4日（木）16：00～

2 場 所 東金中学校 校長室

3 出席者 【委員長】大木 宏之様（後援会長）
【委員】 鍋木 利明様（東金地区区長会長）
内田 正一様（嶺南地区区長会長）
子安 博文様（正木地区区長会長）
大塚 雅彦様（福岡地区区長会長）
伊東 邦子様（主任児童委員）
土肥 啓典様（PTA副会長）
石原 信行様（東金市教育委員会）

4 学校側出席者 古川 尚弘（校長）
小高 一徳（副校長）
高知尾敦博（教頭）
勝田 徳幸（主幹教諭）：進行
鎌田 栄治（主幹教諭）：記録

5 会次第 ①委員長あいさつ
②校長あいさつ
③自己評価解説
④学校関係者評価
⑤連絡事項
⑥その他

6 評価内容（座談会方式）

※評価委員から出された主な発言……◎ 学校側の発言……△

◎「職員は生徒のことを理解し、公平に評価していると思いますか。」という質問に対して、職員は100%が「そう思う、ややそう思う」と回答しているがであるが、生徒・保護者の肯定的な回答は70%程度である。この30%の差を職員は、どう考えているか。

△自由記述を参考に考えると教師が生徒や保護者に誤解されるような言動をしていることがうかがえる。職員の言動については、生徒や保護者の立場を考え、十分に注意するようアドバイスしている。

◎生徒理解は、難しい問題である。アンケートの14項目の中で一番気になる項目である。

△今後とも継続して、職員へは、話をしていきたい。

◎「生徒は交通ルールを守り、登校していると思いますか。」という質問に対して、95%の生徒が肯定的な回答をしている。生徒は、自らが危険な運転をしていると感じていないのではないか。学校として、交通指導などはどのように行っているか。

△年5回PTAと合同で、各通学路のポイントにおいて登校時の交通指導を行っている。下校指導においては、年2回合同で行っている。また、毎日生徒の登下校時に学校付近の観察ポイントにおいて職員が指導を行っている。

◎本年度、交通事故は何件くらい発生したのか。

△自転車通学の3年生の男子生徒が登校中に車と接触。足首を骨折した事故が1件発生した。

◎生徒は帰宅後や休日にはヘルメットを着用しないが、ヘルメット着用の習慣は登下校時だけでなく休日にも必要であると思うが。

△帰宅後や休日については、家庭での指導が大きいと思うが、学校でも自転車の乗り方だけでなく、安全に関する指導を丁寧に行っていきたい。

◎生徒の身だしなみについて、生徒と職員の肯定的な回答率に差が見られるが、それについてどのように考えるか。

△「そう思う」「ややそう思う」という回答の両方を見ると大きな差はないと考える。職員の求めている正しい身だしなみと、生徒が考えているものに差があるのではないか。中学生として、あるべき姿を引き続き指導していきたい。

◎清掃への取り組みについても生徒と職員の差が大きいようであるが、どのように考えるか。

△生徒と職員の「きれいになった」との考え方に差が出ることがある。「よりきれいに」や「時間いっぱい取り組む」といった考え方について、今後も生徒が理解できるよう手立てを示していきたい。

◎「授業参観や学校行事に保護者が参加していると思いますか。」の質問は、行事によって差が出てしまうと思うがどのように考えるか。

△学校だより、ホームページなどを活用して情報発信を心がけている。PTA役員の方々とも連携し、保護者にもっと学校への関心を持ってもらえるよう工夫している。今後も継続していきたい。

◎いじめのアンケートの結果では、特に心配なさそうな結果であるが、現実はどうなのか。

△いじめアンケートでは、小さなトラブルを起こし人間関係が心配であるということがいくつかあがっている。学級担任だけでなく、学年の職員やカウンセラー、相談員などと連携をして取り組んでいる。

～東金市教育委員会の石原様から～

地域からの苦情や要望を中学校にお願いすることも教育委員会の仕事の一つであるが、東金中学校は大きな学校にもかかわらず、教育委員会に寄せられる苦情や要望の件数がかなり少ない。地域の方々や保護者、学校が協力して、努力されているのだと思う。

平成27年度

学校関係者評価委員会報告

東金市立東金中学校